

○ 本県の少子化の現状と「子ども・若者プロジェクト」の取組状況等について

1 令和6年の合計特殊出生率等の状況

厚生労働省「人口動態統計」（概数）

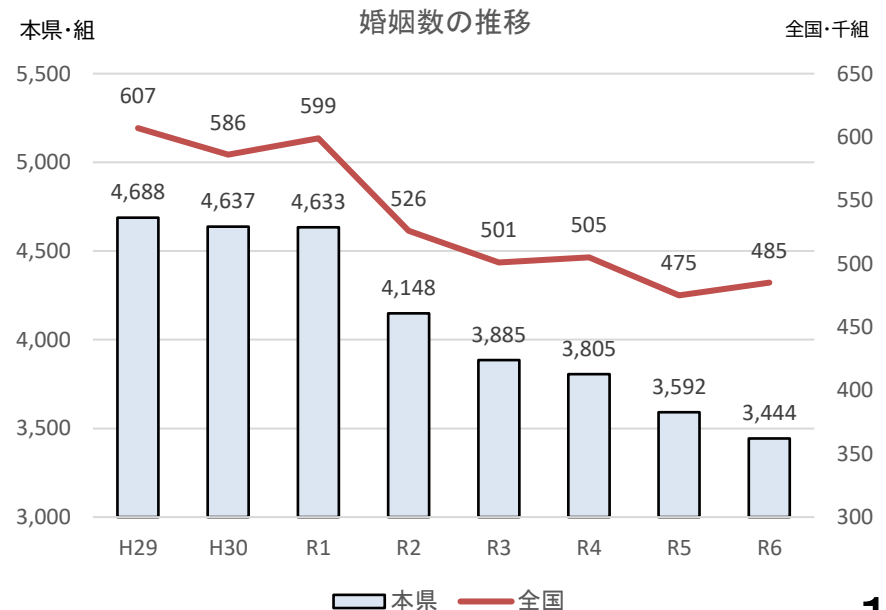
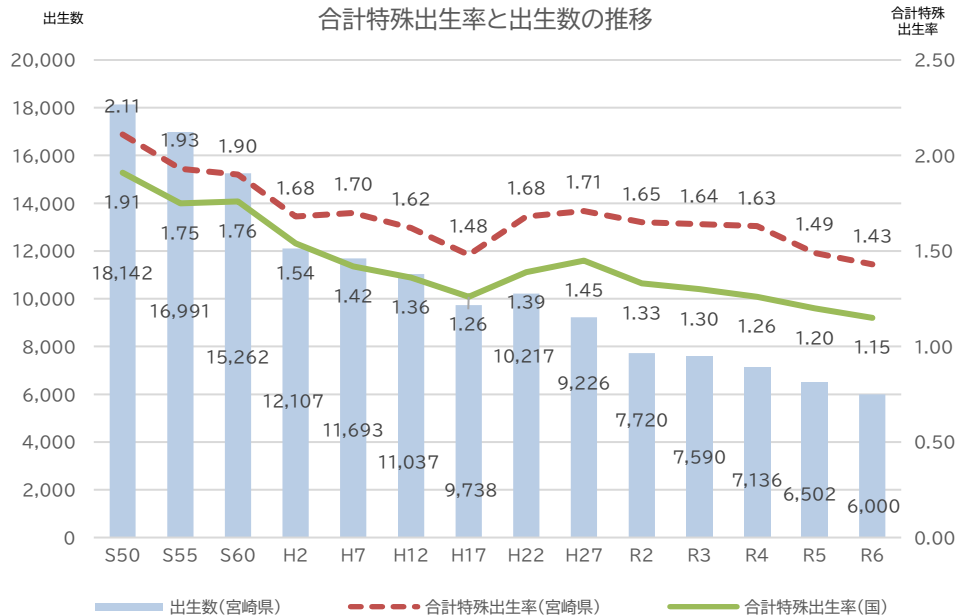
◆ 合計特殊出生率：1.43（全国3位）◆ 出生数：6,000人 ◆ 婚姻数：3,444組

○合計特殊出生率、出生数

- ・ 全国の令和6年合計特殊出生率は1.15(過去最低)。
- ・ 本県は全国3位と上位は維持しているものの、本県の令和6年合計特殊出生率は1.43(過去最低)。
- ・ 出生数は全ての都道府県において減少。本県の出生数は6,000人(過去最少)、この30年間で51.0%減少、この10年間で36.9%減少。

○婚姻数

- ・ 全国の婚姻数は都市部(29都道府県)を中心に回復(R5→R6: +2.2%)。本県は令和6年3,444組(過去最少)で、前年比▲4.1%(全国ワースト3)。
- ・ 平成20年代後半における進学・就職時の若年層の県外転出や、新型コロナウイルス感染症の影響(R2～R4)により出逢いの機会が減ったことなどから減少傾向(特にR1→R2で大きく減少:▲10.5%)。



2 これまでの取組について



子育て支援活動を行うNPO団体等と連携して、子育て中の親子を対象とした子育て応援フェスティバルを開催
来場者：4,000人 参加企業：97団体（令和6年度）
※令和7年度は11月8、9日で開催予定

「ひなたの恋 応援アンバサダー」蛙亭 イワクラ氏等をゲストに招いた大規模な婚活イベント（男女合わせて80人規模）を年3回開催するとともに、市町村や企業等による中小規模の婚活イベント開催を支援するなど、出逢いを希望する男女の交流の機会を創出

宮崎県は男性の育児休業取得を進める企業等を応援します！

男性育児休業取得奨励金

男性従業員が通算4週間以上の育休を取得した場合

1社あたり最大 **100** 万円を支給します

奨励金の種類

① 育児休業取得者手当奨励金 育児取得者に育児休業給付金とは別に手当を支給した場合 ※出生前休業支援給付金の給付期間3対象外 上限5万円/4週間あたり	② 育児休業取得者企業奨励金 男性従業員が育休を取得した場合 25万円/年度1回限り（定額）
③ 代替人員確保奨励金 育児取得者の代替人員として新たな従業員を雇用した場合 20万円/育児取得者1人あたり（定額）	④ 応援職員手当奨励金 育児取得者と同所属の従業員に手当を支給した場合 上限20万円/育児取得者1人あたり

男性従業員が育児休業を取得した企業等に対して、最大100万円の奨励金を支給し、共働き・子育てしやすい環境づくりを推進

支給決定件数：43件（令和6年度）
※令和7年8月末時点で13件

等への一歩 応援します！

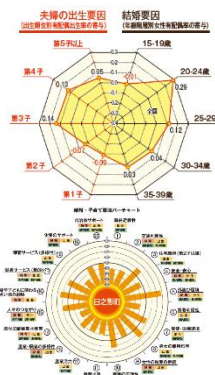
保育士修学資金貸付等制度

指定保育士養成施設に在学し、保育士資格の取得を目指す学生に対し学費等又は就職準備金を貸し付け、保育人材の確保を図る。

貸付決定者件数：105件（令和6年度）
※令和7年8月時点は111件

指定保育士養成施設に在学し、保育士資格の取得を目指す学生に対し学費等又は就職準備金を貸し付け、保育人材の確保を図る。

貸付決定者件数：105件（令和6年度）
※令和7年8月時点は111件



乳幼児のいる保護者が安心して外出できる環境づくりを行うことを目的に、授乳やおむつ替えの場を備えた施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、利用者のお出かけをサポート

赤ちゃんの駅設置施設：485施設（令和6年度）
※令和7年9月時点では502施設

市町村が「地域アプローチ（地域の実情に応じた少子化対策）」による取組を進めていくため、少子化要因見える化ツールを活用した外部専門家による市町村支援を実施
R6年度支援数：4市町（宮崎市、日向市、串間市及び日之影町）R7年度支援数：3市町（日南市、小林市及び高鍋町）

3 R7年度の取組について

(1) 出逢い・結婚の希望を叶える

結婚支援サービス利用促進事業

【事業概要】

結婚を希望しながらも行動に至っていない方々に対し、マッチングアプリなど民間の結婚支援サービスを利用する際の初期費用相当額（最大1万円）を補助することで、行動を促す。

【令和7年度実績】

補助件数：100件超（R7.9現在）



宮崎カーフェリーでつなぐ 婚活ツアー事業

【事業概要】

宮崎カーフェリー等を利用し、神戸市等の近畿圏を中心とした県外の独身者と県内の独身者が、船内や県内市町村で交流する婚活ツアーを開催することで、県外独身者をターゲットとした出逢いの機会を創出する。

【今後の取組】

R7.10.4～5 : 日向市
R7.12.6～7 : 日南市
R8.1.31～2.1 : 都城市



みやざき結婚サポート強化事業

【事業概要】

「みやざき結婚サポートセンター」を県内3カ所に設置し、結婚を希望する会員男女に対する1対1の出逢いをサポートする。

【今後の取組】

令和7年度は、
同センター開設
10周年となり、
若い世代を対象
とした登録料無
料キャンペーン
や記念イベント
を実施

※写真は、9/27（土）
に宮崎駅前アミュ広場
で実施した記念イベ
ントの様子



<その他の取組>

◆出逢い・婚活情報等を配信するLINE「ひな恋」を運営
登録者数：2,500人超（令和7年9月時点）

◆市町村や企業等における出逢い・結婚支援の取組促進のため、結婚支援コンシェルジュを2名配置
訪問実績：26市町村、64企業（令和7年7月末時点）

(2) 子どもが欲しい人の希望を叶える

第2子保育料負担軽減事業

【事業概要】

第2子の保育料を軽減して、負担感を下げることにより、第3子以降の出生につなげる。

【令和7年度の取組】

各市町村の条例やシステム整備、また、保育料の見直しにあわせて、**R7年9月分の保育料から全市町村で実施**



アクサ生命保険(株)との「こども・若者の支援に関する協定」

【今後の取組】

遺贈寄付を活用したこども・若者への支援や県が実施するライフデザインセミナー（出産・育児に必要な資金の情報など）にて、**同社の講師を派遣**



放課後児童クラブ待機児童解消加速化事業

【事業概要】

待機児童の解消のため、国の要件を満たさない放課後児童クラブに準じた居場所の確保に係る費用及び送迎支援の費用を補助

【令和7年度の取組】

延岡市・日南市・小林市と連携して**65名の新たな居場所を確保**



保育士・保育所支援センターリニューアル

【事業概要】

保育人材と幼児教育保育施設（保育所や放課後児童クラブ等）とのマッチングを支援。

【令和7年度の取組】

新規登録者 55名、新規登録施設 295施設、採用件数 18名

引き続きハローワーク等との連携や県外保育士養成施設へのPRを行い人材確保に努める。



4 今後の方向性

上記2、3の取組を着実に進めるとともに、日本一生み育てやすい県の実現に向けた取組を短期的・集中的に実施する。